

**SWIFT INNOVATION
FUN & SPORTY**

新型スイフト誕生

新プラットフォーム

HEARTECTで軽量化と高剛性を両立

SWIFT

スイフトらしく、大胆に進化！

衝突被害軽減システム「デュアルセンサーブレーキサポート(DSBS)」採用

世界で530万台以上が販売され、グローバルコンパクトカーとして高く評価されてきたスイフトが3代目モデルに生まれ変わって登場。新世代プラットフォーム「HEARTECT(ハーテクト)」の採用、ハイブリッドからダウンサイジングまで拡充された搭載エンジン、運転支援機能も備えた先進安全機能「デュアルセンサーブレーキサポート(DSBS)」の採用など、まさに注目ポイント満載。軽量化と剛性アップでスイフトならではのキビキビした走りには一段と磨きがかかる、インテリアなどの質感が高められたことでクラスを超えた充実感を味わうことができる。世界を見据え、細部に至るまでブラッシュアップが図られた新型スイフトの魅力に迫ってみよう。



発行所
日刊自動車新聞社
東京都港区芝大門1丁目10番11号
芝大門センタービル3階
電話 東京(03)5777-2351代表

SUZUKI
新型
スイフト
特集号



SUNNY
ハイブリッド2WDはJC08モード27.4km/ℓ

運転をサポートするマルチインフォメーションディスプレイ

文/田畠修(モータージャーナリスト) 写真/奥隅圭之

■アクセサリーでスポーティな魅力をさらにアップ

スタイルッシュに変身した新型スイフトだが、そのスタイルをさらに際立たせ、インテリアの質感や利便性を高める純正アクセサリーも豊富に用意されている。エクステリアをスポーティに仕立てるフロントグリルやエアロパーツに加え、上品なエレガント志向のガーニッシュ類も設定。インテリアに目を移すと、レッドやパールホワイトのアクセントカラーでインパネ回りやシートを飾るシートカバーやガーニッシュ、夜間の室内を演出するLEDイルミネーションなどさまざまなアイテムがそろっている。自分だけのコーディネイトを楽しんでみるのもお勧めだ。



Stylishly



SWIFT HISTORY

スイフトの歴史

それまでの軽自動車ベースのスイフトに代わり、専用プラットフォームを与えたスイフトが登場したのは2004年のこと。2010年には2代目モデルへと生まれ変わり、それから約6年を経て3代目モデルへとバトンタッチ。スズキのグローバルモデルとして世界各地で生産・販売され、インドではランクを持つスイフトセダンも販売されている。2008年には累計100万台、2010年には200万台、2014年には400万台とセールスを伸ばし、2016年にはついに500万台の大台を突破。スポーツバージョンのスイフトスポーツを含め、多くのスイフトが世界の道を走り続けている。

スイフト諸元表	5ドア								XG	
	R S t	H Y B R I D	D R S	R S	H Y B R I D	M L	2 W D (前2輪駆動)	C V T	F U L L T I M E	4 W D
ボディ 機種名	2 W D (前2輪駆動)	フルタイム 4 W D	2 W D (前2輪駆動)	フルタイム 4 W D	2 W D (前2輪駆動)	フルタイム 4 W D	2 W D (前2輪駆動)	フルタイム 4 W D	2 W D (前2輪駆動)	フルタイム 4 W D
駆動方式	6 A T	C V T	5 M T	C V T	5 M T	C V T	5 M T	C V T	5 M T	C V T
トランスミッション										
全長×全幅(mm)	4,480	1,755	4,480	1,755	4,480	1,755	4,480	1,755	4,480	1,755
全高(mm)※	1,480	1,475	1,480	1,475	1,480	1,475	1,480	1,475	1,480	1,475
室内寸法(長さ×幅×高さmm)										
ホイールベース(mm)	2,600	2,600	2,600	2,600	2,600	2,600	2,600	2,600	2,600	2,600
トレッド(前/後)(mm)	1,480	1,475	1,480	1,475	1,480	1,475	1,480	1,475	1,480	1,475
最低地上高(mm)	120	120	120	120	120	120	120	120	120	120
車両重量(kg)	930	910	900	870	900	960	860	890	950	840
乗員定員(名)	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5
J C 0 8モード燃料消費率(km/ℓ)	20.0	27.4	25.4	22.6	27.4	25.4	22.6	22.8	23.4	24.0
最小回転半径(m)	9.9	9.9	9.9	9.9	9.9	9.9	9.9	9.9	9.9	9.9
エンジン形式	K 10 C型									
エンジン種類	水冷4サイクル直列3気筒直噴ターボ									
総排気量(cc)	996	996	996	996	996	996	996	996	996	996
使用燃料/燃料タンク容量(ℓ)										
エンジン最高出力(ネット)(kW/PS)/rpm	75<102>/5,500	75<102>/5,500	75<102>/5,500	75<102>/5,500	75<102>/5,500	75<102>/5,500	75<102>/5,500	75<102>/5,500	75<102>/5,500	75<102>/5,500
エンジン最大トルク(ネット)(N·m/kg·m)/rpm	150(15.3)/1,700-4,500	150(15.3)/1,700-4,500	150(15.3)/1,700-4,500	150(15.3)/1,700-4,500	150(15.3)/1,700-4,500	150(15.3)/1,700-4,500	150(15.3)/1,700-4,500	150(15.3)/1,700-4,500	150(15.3)/1,700-4,500	150(15.3)/1,700-4,500
モーター型式	—	—	WA05A	—	WA05A	—	WA05A	—	WA05A	—
モーター種類	直流同期電動機									
モーター最大出力(kW/PS)/rpm	—	2.3(3.1)/1,000	—	2.3(3.1)/1,000	—	2.3(3.1)/1,000	—	2.3(3.1)/1,000	—	2.3(3.1)/1,000
モーター最大トルク(N·m/kg·m)/rpm	50(5.1)/100	50(5.1)/100	50(5.1)/100	50(5.1)/100	50(5.1)/100	50(5.1)/100	50(5.1)/100	50(5.1)/100	50(5.1)/100	50(5.1)/100
動力用主電池	リチウムイオン電池									
ステアリング										
主ブレーキ形式 前/後	ベンチレーテッドディスク/ディスク									
サスペンション 前/後	マクファーソンストラット式コイルスプリング/トーションビーム式コイルスプリング									
タイヤ	185/55R16 83 V	185/55R16 83 V	175/65R15 84 H							



※ルーフアンテナを折り畳んだ際の数値です。
燃料消費率は定められた試験条件での値です。お客様の使用環境(気象、渋滞等)や運転方法(急発進、エアコン使用等)に応じて燃料消費率は異なります。

スイフトのDNAを大胆に進化

■ マイルドハイブリッドと新エンジンの低燃費

新型スイフトに搭載されるパワーユニットは3種類。1.2ℓデュアルジェットエンジンにモーター付発電機「ISG」を組み合わせたマイルドハイブリッドは、減速時のエネルギー回生やアイドリングストップ後のエンジン始動をISGが受け持つことで燃料消費を抑え、JC08モード燃費27.4km/ℓを実現。モーターアシストによるスムーズな加速も特徴だ。ISGを備えない1.2ℓデュアルジェットエンジンも高い圧縮比、各部フリクションの低減などで力強さを確保し、5速マニュアルトランスミッションを選べば意のままに操る楽しさを味わうこともできる。RStに搭載される1.0直噴ターボのブースタージェットエンジンは、102PSの出力が生み出すパワフルな走行感覚と、ダウンサギングターボならではの低燃費が魅力。反応のいい6速ATとの組み合わせも特筆できる。



DUAL JET ENGINE

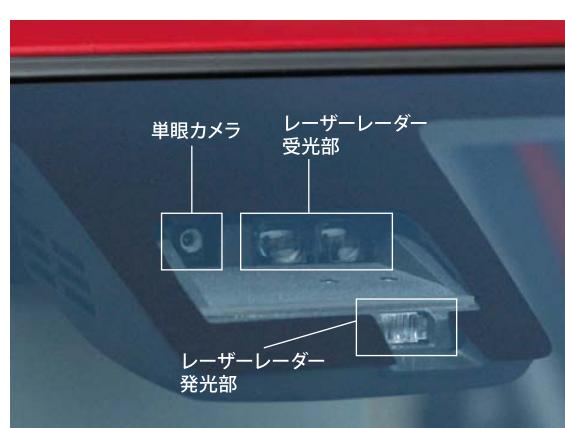
BOOSTER JET ENGINE



歩行者も検知するデュアルセンサーブレーキサポート

■ 先進安全技術で走りに安心感を

衝突時の安全性を高めた衝撃吸収ボディ「TECT」などに加え、先進安全性能であるデュアルセンサーブレーキサポート(DSBS)を新たに搭載。DSBSは単眼カメラとレーダーレーダーで常に前方を監視し、歩行者や障害物への接近を感じると警報を鳴らし、衝突の危険を察知するとブレーキアシスト機能や自動ブレーキ機能が作動。衝突回避および被害軽減を支援してくれる。さらにペダルやシフトの操作ミスをカバーする誤発進抑制機能、車線逸脱警報機能、ハイビーム自動切り替え機能などを備え、全方位から安全運転をサポート。ミリ波レーダーを使ったアダプティックルーズコントロールも含め、これら先進安全機能はセーフティパッケージとして設定されている。



Engineer's Voice

スズキ
スイフト チーフエンジニア
小堀昌雄さん



新型スイフトを見た瞬間、あるいは乗った瞬間に「スイフトとはこういうクルマだ」と再確認していただけるように、こだわりをもって開発してきました。ルーフを低くし、重心高を下げることでスポーティ感を強調したスタイルと、新世代プラットフォームの採用で一段とキビキビ感の高まつた走りを、ぜひハンドルを握って体感してください。また、ホイールベースを伸ばしたことでの室内の余裕度も増しており、広くなった後席の足元スペースや、より多くの荷物が積めるようになったラゲッジスペースの使い勝手のよさを確認していただけるはずです。

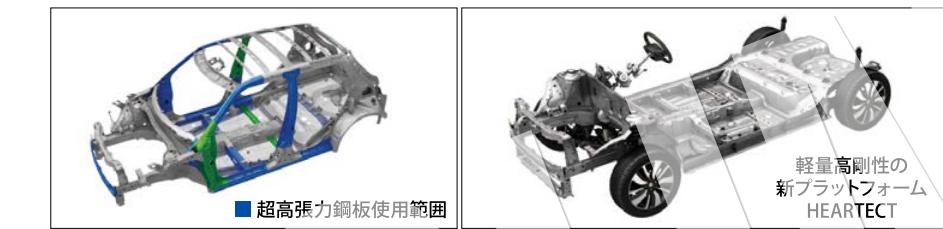
■ コンパクトな外観、広い室内

全長は先代モデルより10mmだけ短い3840mm、全幅は変わらず1695mm、全高は10mm下がられて1500mm(2WD)となった新型。一方でホイールベースは2450mmと20mm延長されたことで、室内的有効スペースおよびラゲッジスペースの余裕度は向上している。全幅はそのままながら前席の左右乗員間距離は20mm広くなり、着座時のヒップポイントも前席で20mm、後席で45mmも下げられ、全高を下げる空力性能などを高めたにもかかわらず乗員全員がゆったり過ごせるようになったところは見逃せない。また、ラゲッジスペースは幅が25mm広げられ、奥行きは75mmも伸ばされて容量265ℓを確保。後席をたためば579ℓのスペースを得ることができ、大きなものの運搬も可能だ。



■ 新プラットフォームで軽量化と高剛性を実現

スイフトに採用された新世代プラットフォーム「HEARTECT(ハーテクト)」は、クルマの土台となるアンダーボディの骨格形状を見直し、屈曲を減らして滑らかな形状とすることで剛性を高めながら軽量化も両立。このアンダーボディだけで先代モデルに比べて約30kgも軽くなっている。さらにサスペンションパーツやエンジン回り、シートなど内装部品まで徹底して軽量化し、クルマ全体では約120kgものダイエットを実現している。上屋となるボディも超高張力鋼板の使用率を3倍に増やしたことによって剛性を確保しながら軽量化を果たし、キビキビとした走り、低燃費といったスイフトの美点を損なうことなくワンランク上のクオリティ感も確保。グローバルモデルにふさわしい仕上がりとなっている。



個性的なデザインと高い走行性能のグローバルコンパクトカー

■ インテリアデザイン

細部まで作り込まれ、質感を高めながらスポーティに仕上げられたインテリアにも注目したい。運転席周りはドライバー中心のレイアウトでまとめられ、2連アナログメーターや3本スポークのD型ステアリングホイールなどが気分を高めてくれる。ナビゲーションパネルやヒーター操作部はドライバーに向けて5度だけ傾けられており、運転を妨げないように視認性や操作感を確保。シフトノブ回りやエアコンルーバーの周囲、ドアの内側にはシルバー加飾が配されて質感を高め、ブラック基調でまとめられた前後席シートが落ち着いた雰囲気をかもし出している。アクセルとブレーキの操作状況など、さまざまな情報を表示するマルチインフォメーションディスプレイも嬉しい装備だ。



座った瞬間、
クルマとひとつになる。
ドライバー視線で
設計されたコックピット。

■ RSの特徴と内装

ヨーロッパの道でセッティングを煮詰めた新型スイフトのなかで、さらに走行性能が高められたRSグレードの存在も見逃せない。サスペンション、タイヤ特性、電動パワーステアリングなどに専用チューニングを施すことできちん感が増し、スポーティな走りを楽しむことができる。ハニカムメッシュのグリルと専用フロントバンパー、ルーフエンブレムなどRSならではのエクステリアも凜々しく、インテリアもステアリングホイールやシートにシルバーのステッチを配するなど細部にこだわりを見せる。5速マニュアルトランスミッション車も用意され、意のままにクルマを操る楽しさも味わえる。



シングルで洗練された室内空間

■ ボディカラー——こだわりの新色 赤と青

豊富なボディカラーも新型スイフトを語るうえで外せないファクターだ。新色を含めて全9色が用意され、好みやライフスタイルに合わせたカラーを選ぶことができる。新色のバニシングレッド/パールメタリックは、発色特性が異なる2種類の赤の顔料を重ね塗りし、アルミフレークとパール顔料を絶妙に配合することで鮮やかで透明感があるボディカラーを実現。躍動的なスタイルを一段と際立たせている。もうひとつの新色であるスピーディブルーメタリックに加え、ホワイトやブラック、ブラウンなどすべてパールおよびメタリック系のカラーを採用。深みのあるプレミアムシルバーメタリックはRSグレードおよびRStの専用色として設定されている。



New Debut!

SWIFT

■ エクステリアデザイン

初代モデルから受け継がれてきたスイフトのDNAを進化させながら、ホイールベースを伸ばし、全高をやや低く仕上げてスポーティさを演出。思い切って面積を拡げたフロントグリルが存在感を強調し、デザインを一新したヘッドライトがフロントスタイルを引き締める。ピラーをブラックアウトすることでルーフが浮いたように見えるフローティンググループスタイルを踏襲し、リアドアのノブをピラーに埋め込んだことでサイドからリアにかけての流麗なラインが一段と際立っている。全長は先代モデルよりわずかに短くなつたが、躍動感の増したボディフォルムによりボリューム感は増しており、多彩なボディカラーと相まって所有する喜びはより高まっている。

